

# にしだ昭二 県政通信

七尾主義  
NANAOPOLICY



七尾が大好き

2012  
秋号

北信越県議会議員野球大会  
西田昭二県議  
(石川県立野球場にて)



準優勝 第6回北信越県議会議員野球大会 平成24年5月19日(土) 於石川県立野球場

西田昭二県議は、前列右から3人目

## ごあいさつ

今年の夏も大変な猛暑でありましたが、ひと雨ごとに残暑が和らぎつつある中、いかがお過ごしでしょうか。こんにちは！県議会議員の西田昭二です。政権交代で国民から大変大きな期待を受けた現政権も今や逆に大きな失望に変わったところでもあります。年内にも解散総選挙が叫ばれる中ではありますが、是非とも次の政権には、目先にとられる事なく、先を見据えた政治の舵取りを願うものがあります。2度目の改選から早や1年が過ぎ去り、日々、職責の重さを感じているところではありますが、今後とも、私自身も 市民や県民の付託に答えるべく全力で頑張る所存でありますので、よろしく願いいたします。

石川県議会議員 西田昭二(2期 43歳)

### 県議会での主な略歴

- H19年 県議会 厚生環境常任委員会
- 〃 交通・交流・世界遺産特別委員会
- H20年 〃 ○土木企業常任委員会
- 〃 地域防災・活性化特別委員会
- H21年 〃 ○総務企画常任委員会
- 〃 循環型社会形成特別委員会
- H22年 〃 ○文教公安常任委員会
- 〃 地域経済・雇用対策特別委員会
- H23年 〃 ◎厚生文教常任委員会
- 〃 ○新幹線対策特別委員会【現】
- H24年 〃 ◎環境農林建設常任委員会【現】

◎は委員長 ○は副委員長

## 初心を忘れることなく！

### 2月議会一般質問・6月予算委員会質問

県議会初当選から21回の県議会定例会が行われ、これまで初回からずっと一般質問や委員会での質問を続けています。細かな質問もありましたが『地元七尾を大切に』との思いであり、県議会議員として県との『つなぎ役』に徹する思いは、今も変わりません。以下は、2月議会一般質問及び6月議会予算委員会での 私の質問と執行部の答弁の趣旨です。

### ~にしだ昭二事務所~

〒926-0173 七尾市石崎町ソ部5

TEL & FAX 0767-62-2525

MAIL [nanaopolicy@yahoo.co.jp](mailto:nanaopolicy@yahoo.co.jp)

## 七尾線沿線の魅力発信の方法について 【平成24年2月議会にて】

《質問趣旨》① 地方ならではの耳寄りな観光情報などを観光客に提供する手法として、鉄道事業における永年の職務経験を持ち、七尾線とその沿線の発展に熱い思いをお持ちのJRのOBの方々から力を借りることはできないか聞く。② 能登ふるさと博の期間中に世界農業遺産の隠れた魅力も含め、七尾線沿線の名所、風物を盛り込んだオリジナル加賀万歳や観光ガイドなどにより、観光情報を発信してはどうか聞く。



等伯の絵画を描いたイラストを貼る作業員  
市役所の絵画制作所

24.7.28 北國新聞

《蟹由観光交流局長答弁》① 鉄道を利用した能登への誘客については地元の皆様が中心となり七尾線ではラッピング列車の運行や特急列車車内での「ゆるキャラ」による観光ガイド、のと鉄道の名物ガイドが沿線の見所を紹介する解説付きツアーが実施されてきておりこの取り組みが利用者の増加につながったと考えている。② 本県を訪れる観光客へのおもてなしの一環として沿線の魅力を伝えたり、その土地ならではの観光情報を提供したりすることはリピーター客の増加につながる大切な取り組みである。今後ともこうした皆さんの人材を活かす方策や情報発信についてJRや地元市町、観光ボランティア団体とも相談しながら七尾線沿線をはじめ、能登の誘客に努めていきたい。

## のとじま水族館開館30年に向けてについて【平成24年2月議会にて】

《質問要旨》 本年度の入館見込みについて聞く。来年度計画している「新クラゲの世界」整備計画の概要と、今後更なる魅力の創出、来館者数の拡大に向け、どのような考えを持っているのか聞く。

来年度は、更なる集客を増やす手立てとして、能登島大橋架橋30周年記念イベントとの連携や、スポーツ合宿の受け入れや 各種スポーツ大会の誘致など、地元行政や 団体と連携することによる相乗効果によって、念願の入館者50万人突破を期待するがどうか。

《酒井参事答弁》 累計で前年同期比60,000人。制度の廃止の影響で東海地区など県外来場者が減少。9月以降水族館全体の魅力アップを図るため、新たな展示魚類の導入、ジンベイザメの愛称募集、コツメカワウソの赤ちゃん誕生と愛称募集、餌やり体験の実施などで46万5千人と推測される。今後の誘客に向け、アザラシと触れ合うプールも完成し、来年度新クラゲの世界の整備については展示コーナーを立体的空間として再整備する。円柱水槽や天井水槽の新設、鏡や照明効果を活かし、幻想的なクラゲの世界をつくり出したいと考えている。来年度の地元の方々による能登島大橋架橋30周年記念イベントには、連携を図るべく現在意見交換協議を進めている。今後とも県や七尾市和倉温泉を始めとする関係団体の取り組みとも連携を図り入館者50万人達成を目標に取り組んでいきたい。



24.8.2 北國新聞

## 七尾大田火力発電所について【平成24年6月議会予算委員会にて】



七尾港リーフレット抜粋

《県議の質問要旨》七尾大田火電の稼働率は志賀原発停止前と比べて高くなっていると思うがどうか？

⇒《小森企画振興部長》停止以前は約6割の稼働率であり、原発停止後は約8割となっている。

⇒《県議の質問要旨》志賀原発が停止し火電の稼働率が上がるということで二酸化炭素の排出量は度の程度増加しているのか

⇒《藤原環境部長》試算の結果、180万トン～190万トンであり、本県の総排出量の約2割に相当する

⇒《県議の質問要旨》二酸化炭素の増加や火力電源の燃料費の増大は将来的に電気料金の値上げにより県民の負担増や産業の空洞化につながるのではないのか。

⇒《谷本知事》火力発電に過度に依存することは経済性や二酸化炭素の排出などのマイナスの側面があり、こうした状況が長く続くことはあるべき姿ではないと思う。国の今後のエネルギー政策の方向性をしっかり示していただくことが何より重要と考えている。

平成24年6月議会は、予算委員会での一問一答形式で行われました。  
質問内容を一部要約してご報告申し上げます。

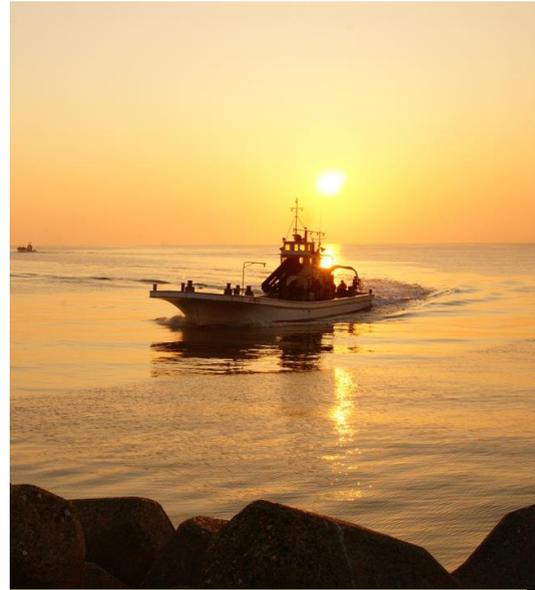
## 七尾の造船業について【平成 24年 6月議会予算委員会にて】

《県議の質問要旨》七尾港の造船業は港とともに生まれ長い歴史と優秀な技術を持ち現在は被災した漁船の新造需要にも対応していると聞かすが近年の受注状況は？

《稲葉商工労働部長》現在の新造船の受注実績は、H22年度4隻、H23年度10隻、本年度は4隻。修理等を含めるとH22年度320隻、H23年度330隻、本年度92隻である。

《県議の質問要旨》作業船は冬場の作業が少ないため冬に係留し修理すると聞いている。湾内の埠頭の活用や計画にある防波堤の延伸を含め、天然の良港の七尾港を活用し造船業を後押しし、七尾港振興と七尾全体の経済の底上げを!!

《稲葉商工労働部長》修理を終えた作業船の一時保管の停泊地は20隻であるが、保管数の拡大に向け関係者と現在調整中。製作だけではなく鉄工、機械、電気、エンジン、塗装等すそ野が広い産業であるため、ポートセールスを支援すると共に県内外の船舶関係者に対し七尾港を造船業の一大基地として売り込み七尾港振興の柱の1つとして育てていきたいと考えている。



緩目漁港の朝

## 中学校の部活動について【平成 24年 6月議会予算委員会にて】

今年度で廃部  
全国で有終を  
七尾御蔵中バレー部  
七尾市御蔵中の女子  
バレーボール部員4人  
が7日、同市役所を訪  
れ、18、19日に神奈川  
県で行われる「湘南藤  
沢カップ全国中学生バ  
レーボール大会」への  
出場を報告し、今年度  
で廃部となる同部の有  
終を飾ることを誓った  
写真。

《県議の質問要旨》私自身も今の立場があるのは相撲道を通じ多くのことを学ばせていただいたおかげ。石川を支える子供たちにも大いに運動部で学び、活躍してほしいと考えている。教育長は、運動部の活動の意義についてどう考えているのか、また、加入状況について伺う。

《木下教育長》運動部活動はスポーツに親しむ態度を育て体力向上や生徒の協調性、責任感、連帯感を育む等の人間的な成長に寄与するものと考えている。平成23年度の調査では本県の中学生の76.4%が加入。全国平均から12.3%上回っている。

《県議の質問要旨》能登地区では団体競技の運動部の休廃部や人数不足のため練習や大会出場が難しい運動部があると聞いているがどうか？

《木下教育長》確かに能登地区の中学校の部活動は減少傾向にある。休廃部については学校長が市町教委と協議し、学校としての部活のあり方、地域の特性等を検討し、保護者、教職員等と十分協議した上で判断していると理解している。今後、関係団体においてよりよい意見集約をし、中学校における運動部活動の充実と活性化が一層図られることを期待している。

《県議の質問要旨》学校側と中体連の間で相違があったと聞かすが今後このような場合では前向きなチーム編成を期待している。



部員は3年生の4人  
のみ。同市の能登香島  
中の生徒と合同チーム  
「思い切り頑張っ

を結成して大会に  
臨んできた。7月  
28、29日に羽咋市  
千里浜海岸で行わ  
れた千里浜ビーチ  
バレーシヤパンチ  
チャレンジ2012  
(本社共催)には  
4人での出場し、能  
登香島中との決勝  
を制し、初めての  
全国切符をつかん

24.8.8 北國新聞記事抜粋

その他、以下の質問をいたしております。

【平成24年2月議会一般質問にて】

- ◎ 《全国高校総合体育大会（インターハイ）》について
- ◎ 《能登半島地震復興基金》について
- ◎ 《長寿生きがいセンターの統合》について

その他、以下の質問をいたしております。

【平成24年6月議会予算委員会にて】

- ◎ 《警察の武道》について

### 震災直後除き 搭乗率最低に



西田昭二氏

小森部長は、世界農業遺産を売りにした旅行商品の開発や、地元市町や商工団体が利用促進策に取り組んでいることを説明。「地元や関係団体と一体となって全力で取り組む」と述べた。

24.3.9  
北陸中日新聞

### 節目の登壇に決意

○：一般質問が20回目となった西田氏。今年には市議から数えて議員在籍10年、議員秘書経験も合わせると政治に携わって20年目になることで、「自らを奮い立たせながら、能登、石川県の振興、発展のため頑張る」と決意表明してから本題に。節目の日の質問は「答弁に能登への気遣いが感じられた」と感縮しきり。「30回の節目も迎えたい」とあらためて決意したよう。

### 記者席

開港九年目を迎えた昨年七月からの半年は65・2％と比較的好調だったが、年明け以降急落。小森部長は「日本海側の豪雪による交通機関運行の不安や、円高による国外旅行志向の高まりなどが要因」と分析した。

24.3.9 北國新聞

### 書画展で中国客誘致を

### 西田昭二氏

(自民)

トは、延長後の基金でも支援対象とする。〈北京からの誘客〉  
〈能登半島地震復興基金〉能登和倉万葉の40周年記念書画交流展を活用せよ。  
谷本知事 来県する芸術家は中国で強い影響力があると聞く。美術工芸王国・石川や

トは、延長後の基金でも支援対象とする。〈北京からの誘客〉

24.3.9 北國新聞

### 志賀再稼働検討

# 専門家委設置前向き

## 2氏の提案に知事

県議会予算委

県議会六月定例会は二十六日、予算委員会が開かれ、委員十人が一問一答式質疑を行った。西田昭二委員(自民)は、志賀原発の再稼働前に県が安全確認する原子力環境安全管理協議会(安管協)の下に専門家設置を要請し、谷本正憲知事は「専門的、技術的事項を専門家だけで集中討議する場を設け、協議会の議論を強化するのは一つの策だ」と述べ、人選を含めた組織形態を検討し早期に方向性を出す考えを示した。(室木泰彦、榊原崇仁、松本浩司)

し、安管協の議論に資するの是一方策だ。  
Q 七尾港は日本海側有数の造船所集積地。振興策は。  
稲葉良二商工労働部長 造船受注拡大に向け修理船を一時保管する候補地を選定中。保管数拡大へ関係者と調整している。  
Q 中学校武道必修化で外部指導員に警察も協力しては。  
桐原弘毅県警本部長 派遣依頼があれば警察OBの警友会と連携してできる限り応じたい。

### 新聞記事あれこれ

集客策は。酒井県民ふれあい公社理事長 今年度は46万5千人にとどまる見込み。アザラシアイルの公開や、能登島大橋の30周年イベントとの相互連携などで50万人達成を目指す。  
知事 芸術家に魅力アピール

24.3.9 北國新聞

### 火力発電の負担大きい

### 西田昭二氏

(自民)

源の一翼を担っており、こうした状況が続くことはあるべき姿でない。  
知事 原発停止後は8割稼働



西田昭二氏

### 武道「12段」に挑戦

### 記者席

○：西田、善田両氏はスポーツ振興について取り上げ、柔道、剣道、空手で各4段の腕前を持つ桐原弘毅県警本部長に答弁を求めた。西田氏は「相撲にも段位がある。私は4段です」と述べ、中学生武道必修化への県警の支援を要請。「剣道初段」という善田氏は寺井署の早期改築を迫った。「外部指導者の依頼があった場合は要請に応じたい」との答弁を引き出した西田氏は満足顔。一方、一筋縄でない課題だけに前向き答弁とはいかなかった善田氏は「まだまだ修行が足り」とリベンジを誓ったよう。

24.6.27  
北國新聞

24.6.27  
北國新聞